

事業所名 ラシク淵野辺（放課後等デイサービス）

支援プログラム

作成日 令和7年 3月 15日

法人（事業所）理念		自分らしく安心して過ごせる場所を提供します								
支援方針		たくさんのお友達と一緒にさまざまな「遊び」や「体験」を経験することを通して、心と体の成長を最大限のものとなるよう支援し社会的な集団生活に必要なマナーやコミュニケーション力の育成を図ります。発達に特性がある子どもたちの安心・安全な居場所として存在し、自分らしく過ごしながら行動面・学習面・コミュニケーション面などの側面から支援を行い、子どもたちの生活や社会経験がより豊かになるように支援します。子どもたちが楽しく参加出来る外出イベントも多数実施し、地域交流を積極的に行いながら社会との繋がりを育てていきます。								
営業時間		14時	0分	から	17時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	日々のバイタルチェックを実施し、その日の子どもたちの様子に合わせてプログラムを調整し活動を行う。 無理に活動をさせるのではなく、疲れている児童や寝てしまう児童が多い時にはゆっくりdayとしてお休みの時間をとり、体調管理、体力回復の時間としてサポートを行う。								
	運動・感覚	感覚統合遊びを取り入れながらトランポリンやボール投げ、ボーリング、平均台歩きなど感覚刺激ができる活動を取り入れ、感覚過敏や手先のトレーニング、体幹トレーニングなどを実施していく。								
	認知・行動	活動プログラムの中に季節感のある製作活動などを取り入れて、季節の移り変わりを認識してもらうサポートを実施。また、玄関先にある小さなガーデニングコーナーには季節ごとに植物や野菜などを植えて、季節感を感じてもらうだけでなく植物の成長の様子や実食してみるなど食育要素も取り入れている。								
	言語 コミュニケーション	視線を合わせながら名前を呼んだり、スタッフと児童で個別のレベルに合わせて言葉のやり取りをかわすことで、児童の語彙が増えたり、自己主張のサポートを行う。 児童の様子で頑張っている姿勢などを見ることができたら、「すごいね」「がんばってるね」「やったね！」などとスタッフも一緒に喜ぶことで自己肯定感をあげ、児童の自発的行動を促すようにサポートを行う。								
	人間関係 社会性	言葉だけでなくマカトンサインを用いながら「貸して」「トイレ」など言葉を話せなくても意思疎通が行えるようにサポートを行う。 話すことができる児童に対しては、良くない行動をしたときに「次はこうしようね」と否定だけでなくどういう行動をすればいいのかが分かるように指摘を行う。								
家族支援		・ご自宅への送迎の際、ラシクでの過ごし様子や日々の支援について報告共有を行います。また必要に応じてご自宅を訪問し子どもたちへの家庭での支援について助言・アドバイスを行います。 ・ご要望に応じて延長支援が可能です。				移行支援		インクルージョン（地域社会への参加・包摂）推進の観点から、子どもや家族の意向等も踏まえつつ、移行等へ向けた支援を行います。		
地域支援・地域連携		子どもに関わる地域や生活の場にある関係機関や障害福祉サービス事業所等と連携し、より包括的な支援が実現できるように推進します。				職員の質の向上		定期的なスキルアップ研修、虐待防止研修の実施を行います。 各拠点においては日々の支援の振り返り、ヒヤリハットの共有を実施します。		
主な行事等		春：お花見、ひな祭り 夏：バーベキュー 秋：運動会、紅葉狩り、ハロウィン 冬：クリスマス、初詣、節分 通年：動物園、アスレチック、公園遊び、おやつ作り、工作、実験、室内ゲーム、映画鑑賞等								

事業所名 ラシク淵野辺（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

15日

法人（事業所）理念		自分らしく安心して過ごせる場所を提供します								
支援方針		たくさんのお友達と一緒にさまざまな「遊び」や「体験」を経験することを通して、心と体の成長を最大限のものとなるよう支援し社会的な集団生活に必要なマナーやコミュニケーション力の育成を図ります。発達に特性がある子どもたちの安心・安全な居場所として存在し、自分らしく過ごしながら行動面・学習面・コミュニケーション面などの側面から支援を行い、子どもたちの生活や社会経験がより豊かになるように支援します。子どもたちが楽しく参加出来る外出イベントも多数実施し、地域交流を積極的に行いながら社会との繋がりを育てていきます。								
営業時間		11時	0分	から	17時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	日々のバイタルチェックを実施し、その日の子どもたちの様子に合わせてプログラムを調整し活動を行う。 疲れている児童や寝てしまう児童が多い時には予定していた活動内容があっても無理をせずゆっくりdayとしてお休みの時間をとり、体調管理、体力回復の時間としてサポートを行う。								
	運動・感覚	感覚統合遊びを取り入れながらトランポリンやボール投げ、ボーリング、平均台歩きなど感覚刺激ができる活動を取り入れ、感覚過敏や手先のトレーニング、体幹トレーニングなどを実施していく。								
	認知・行動	活動プログラムの中に季節感のある製作活動などを取り入れて、季節の移り変わりを認識してもらうサポートを実施。また、玄関先にある小さなガーデニングコーナーには季節ごとに植物や野菜などを植えて、季節感を感じてもらうだけでなく植物の成長の様子や実食してみるなど食育要素も取り入れている。								
	言語 コミュニケーション	視線を合わせながら名前を呼んだり、スタッフと児童で個別のレベルに合わせて言葉のやり取りをかわすことで、児童の語彙が増えたり、自己主張のサポートを行う。 児童の様子で頑張っている姿勢などを見ることができたら、「すごいね」「がんばってるね」「やったね！」などとスタッフも一緒に喜ぶことで自己肯定感をあげ、児童の自発的行動を促すようにサポートを行う。								
	人間関係 社会性	言葉だけでなくマカトンサインを用いながら「貸して」「トイレ」など言葉を話せなくても意思疎通が行えるようにサポートを行う。 話すことができる児童に対しては、良くない行動をしたときに「次はこうしようね」と否定だけでなくどういう行動をすればいいのかが分かるように指摘を行う。 愛着障害を起こさないよう、時には身体的コミュニケーションも交えながら安らぎや安心感、ぬくもりを感じられるように手を握ったり、抱っこをするなど児童が安心だと思える環境作りを行う。								
家族支援		・ご自宅への送迎の際、ラシクでの過ごし様子や日々の支援について報告共有を行います。また必要に応じてご自宅を訪問し子どもたちへの家庭での支援について助言・アドバイスをいたします。 ・ご要望に応じて延長支援が可能です。				移行支援		インクルージョン（地域社会への参加・包摂）推進の観点から、子どもや家族の意向等も踏まえつつ、移行等へ向けた支援を行います。		
地域支援・地域連携		子どもに関わる地域や生活の場にある関係機関や障害福祉サービス事業所等と連携し、より包括的な支援が実現できるように推進します。				職員の質の向上		定期的なスキルアップ研修、虐待防止研修の実施を行います。 各拠点においては日々の支援の振り返り、ヒヤリハットの共有を実施します。		
主な行事等		春：お花見、ひな祭り 夏：バーベキュー 秋：運動会、紅葉狩り、ハロウィン 冬：クリスマス、初詣、節分 通年：動物園、アスレチック、公園遊び、おやつ作り、工作、実験、室内ゲーム、映画鑑賞等								